



海上自衛隊佐世保音楽隊と子どもたちとの共演



No.109

平成28年11月15日発行（年4回発行予定）

たるみず

# 市議会だより

## 平成28年第3回定例会

一般質問	2
議案等の審議結果	8
公営企業決算特別委員会審議結果	9
常任委員会審議結果	10
桜島火山活動対策議会協議会中央要望	12
編集後記	12

発行／垂水市議会  
編集／垂水市議会だより編集委員会  
鹿児島県垂水市上町 114 番地  
TEL 0994-32-0132（FAX 兼用）  
メールアドレス  
t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp

# 一般質問

平成28年第3回定例会は、9月2日から9月23日まで22日間の会期で開かれ、9月13・14日の本会議で12人の議員が一般質問を行い、全員より“市議会だより”の原稿提出がありました。

■紙面の都合により主な項目について、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。  
 ■掲載の順番は質問順（質問通告書提出順）です。



## 消費生活相談の実態について 南の拠点整備事業について

川越 信男 議員

**問** 消費生活相談の実態について、振り込め詐欺事件など本市において、このような相談はないのか、その実態についてお聞きします。

**答** 本市におきましても、例外ではなく、80歳の女性が、医療費の払い戻しがありますとの電話連絡を受け、タクシーで近くのコンビニエンスストアへ行き、2回にわたり、98万円を振り込んだ事例がございました。2日連続して同日場所への乗車を不審に思ったタクシー会社の通報により、被害が発覚いたしました。垂水幹部派出所によりまずと、被害者は、ATM機の前で携帯電話により加害者からの指示に従い操作を行ったとのことで、振り込め詐欺にあつた自覚は全くなかつたと話されるほど、手口が巧妙であつたとのことでございます。

**問** 南の拠点整備事業は、エリアの一部を道の駅の事業に取り入れる計画となっているようですが、道の駅は駐車場やトイレなどの休憩機能、道路情報や地域に関する情報を発信する情報機能、交流を促進する

地域の連携機能の3つの機能をあわせ持った施設で国の認定が必要であると思いますが、国との協議はどうなっているのかお聞きします。

**答** 国との協議状況でございますが、3つの機能と施設配置計画について、大隅河川国道事務所と協議を重ねております。8月29日には、大隅河川国道事務所のご案内もあり、九州地方整備局道路部に計画案の説明も行つてまいりました。説明のポイントですが、本市としては、道路交通インフラの整備と大隅半島の発展に道の駅の機能が必要であること、そして、トイレや情報発信施設等の配置案の考え方がございました。そのほか、早期認定をいただくためにどういった点に留意すればよいか御指導もいただきました。国、特に大隅河川国道事務所のご理解も高いことから、国にとつてもより良い施設となるよう引き続き連携をしてまいりたいと考えております。

○教育行政について  
 ○教育旅行について



## 小中学校の施設整備は歩み寄って 要望を吸い上げる努力を!

感王寺 耕造 議員

**問** 小中学校の施設整備について、各校の要望をどのように取りまとめ事業実施しているのか。

**答** 学校は自校の施設を調査した上で、改修等を希望する要望書を教育委員会へ提出する。その中で、児童生徒に危険が及ぶものなどの優先度の高い事業を選定し、予算として要求する。

また、緊急を要する事態や災害等の影響等によるものは、随時報告を受け、補正予算による早急な対応を図り実施している。

執行については、各校の行事等に支障のないように、長期休業中に工事を行うなど配慮するとともに、できるだけ早期の着工に努めている。都合により予算措置出来なかつた事業は、土木課の協力をもらつての実施や学校の先生方との協力のもと実施しているケースもある。

**問** 予算の要望を上げなさいではなく、何か手伝える部分はないかという部分が必要だと思うが。

**答** 本市の財政状況が厳しいのではないかとこのような配慮がある

かもしれないが、各学校との連携を深め、相談や要望のしやすい関係を構築できるように努力していきたい。

**問** 草木土の処分と処分場新設についての取組状況と今後の方向性についてどうなっているのか。

**答** 現在所有している市の残土処分場は、たび重なる大災害や近年の桜島降灰量の増加により、受入許容量が少なくなり、平成25年4月からの公共工事や降灰対策事業の残土処分は、桜島の民間残土処分場に搬入している。

市の残土処分場を確保するために、用地買収費や委託費、土砂流出防止工事費等かなりの費用がかかる。民間残土処分場に搬入すれば補助事業に処分費が計上できるとともに、各種起債が充当でき、一般財源の持ち出しは少なくなることから、今後も桜島の民間残土処分場に搬入することが、最善の方策だと考えている



垂水徳洲会病院



垂水徳洲会病院の存続に向けた取り組み・市民の困り事相談の対応の在り方について

堀内 貴志 議員

問

8月に市民主導による垂水徳洲会病院を存続させる会が結成され、8月の1ヶ月間で1万2,381人の署名を集めた。単純に垂水市人口の8割強にあたる署名を集めたが、この結果をどのように考え、これまでどのような動きをしたのか。

また市長は、存続のために垂水市としてできるだけの対策をしないと説明しているが、具体的にはどのようなことか。更に今後の垂水市の地域医療についてどのような考えか。

答

1万2,000人を超える署名が集まったことに対して垂水徳洲会病院の担ってきた役割や無くなることに對する市民の不安の大きさを改めて認識した。徳洲会側は、撤退理由として国が推進する医療改革に基づく地域医療構想における病床機能と病床数の規制への対応、施設の老朽化、医師不足の3点を掲げているが、徳洲会側から本市に具体的な支援の要請はきていない。今後もある機会を捉えて今でできることをしっかりと取り組みながら存続要望を訴えることが大事であるので、引き続き

き粘り強く働きかける。

今後の垂水市の地域医療に関して市民の生命と財産を守る立場から地域の医療と介護の連携など、地域包括ケアシステムの構築の態勢づくりを急ぎ進める必要がある。

問

先日、市に困り事の相談をしたが親切な対応とは言えない旨の苦情を聞いた。市民は相当困ったまでの相談ではなかったかと思う。困り事、要望、苦情の取扱についての根拠と今後の対応の在り方についてどうあるべきか。

答

市民からの困り事相談、要望及び苦情については、垂水市設置条例の中の事務分掌で定義されており、職員ならびに消費生活相談員が責任をもってその役割を果たすことになっている。これまでも法令の定めへのとっり対応しているが、市民の皆様困り事に関しては、もつと説明を丁寧に行う必要がある。だけの対応をする必要がある。

(その他の質問事項)

○選挙権年齢が18歳に引き下げられ行われた選挙の検証と課題について



災害は予測出来ないというけどだ

川畑 三郎 議員

問

8月は相次いで台風が発生し台風10号は岩手県岩泉町をかつてないほどの豪雨、災害が襲い、20名を超える人が死亡、豪雨のすさまじさを物語る。「80年生きている中で一番ひどい」。住民の言葉であります。今回の経験が得た教訓は、「災害は予測できないということだ」と新聞報道されています。台風シーズンであり緊張感を持って対処が必要であります。

太陽国体の年に天皇陛下が皇太子のときに宿泊されたなぎさ荘は草木が生い茂っている状態であります。このままの状態でもいいのか、垂水市の対応は。

答

現在、活用が行われていない状況にあることから、敷地内の雑草、雑木とうが生い茂っており、環境上、また防犯上におきましても、よい環境でないこと認識しています。有効活用を地域住民が望んでおり、所有者を訪問し、今後の対策について、協議をさしていただきましたが、対応に係る明確な回答を現在もいた

お話を続けていきます。

問

中山間地域総合整備事業は平成24年から29年までの6年間の計画であり、残り2年間となりました予定であり事業は進んでいるのか、進んでいないとすればどういった理由があるのか。

答

平成27年までの事業実施状況は、農業生産基盤整備におきましては、事業費ベースで76パーセント、工事着手箇所数で42パーセント、農村生活環境基盤整備を含めた全体計画に對しては、金額ベースで48パーセント、工事着手箇所数で27パーセントとなっております。進捗率の低い理由として、事業費の大きなほ整備備を先行して着手していることや、事業計画時期から事業実施時期までに年数が経過して、採択要件を満たさない箇所出現、また、土地の民事、相続などにより用地買収が難しくなってきたこと、国への予算が要求額とおりにつかないことがあります。

(その他の質問事項)

○梅雨時期の災害発生状況は。



県果樹試験場

## 南の拠点の土地購入について



北方 貞明 議員

**問** 観光事業のイベント開催状況とイベントに対する市の補助金について。

**答** 主なイベントの平成27年度の来場者は、フェスタ夏祭り約3万人、秋の産業祭が約9,000人、カンパチ祭り春、秋で約1万2,000人。市の補助金として商工会イベントとして200万円。秋の産業祭は市の主催であり、抽せん商品代として50万円補助金として予算化している。水産関係でカンパチ祭り15万円、ぶり大将祭り5万円を補助金として、平成28年度から予算化している。フェスタの部分は安全対策として補助金を増額した。カンパチ祭り等々のイベントに関しても安全対策として支援を検討し、イベント開催の主催者側からも補助金の必要性をあげていただきたい。

**問** 城山団地の東側と南側は畑作地帯であり、梅雨や台風時期は畑作地帯からの雨水による土砂くずれ等発生で宅地中に土砂流出、団地内市道が通行止となるが土砂流出対策について。

**答** 現場は城山団地の宅地斜面の上側にあります農地一帯下の宅地内へ水が湧き出していると思われる。大隅地域振興局と現地で検討したが、事業採択の要件に合致しないので事業は実施できないが、市としてはどうすれば可能性があるか検討する必要がある。

**問** 南の拠点整備事業の土地購入については、3つのエリアの中で道の駅の部分は、国土交通省が土地購入されると思うが、2ヶ所のエリアと道の駅の施設整備部分の土地購入はどこの団体が購入するのか。

**答** 道の駅施設整備部分と民間開発エリアは、エリア構想を確実に実現することで、市の負担がかからない最善の方向性の中で、民間で開発する部分は、用地取得及び造成等の整備主体は市の政策として実施いたしますことから、市または市から委任を受けた土地開発公社が整備主体となること、現在考えられる選択肢だと思っている。

## 定住促進事業について 県果樹試験場移転について



梅木 勇 議員

**問** 人口減対策として種々定住促進事業がなされ、さらに今年度から空き家バンク移住促進事業他1件の事業が設けられた。事業は、空き家バンク登録物件が条件となっている事業、あるいは事業活用後空き家バンクに登録することが条件の事業もあり、空き家を有効活用する定住促進が図られているが空き家バンクを見ると、事業利用希望者には物足りない登録件数ではないか、空き家の件数と掘り起こし、対策を伺う。

**答** 移住定住の関連事業は5事業である。制度は市のホームページ及び広報誌への定期的な掲載、市内不動産会社、事業者等への紹介を通じて空き家所有者へ制度を案内し、また空き家バンクの登録の周知として、固定資産税の納税通知書にチラシを同封し案内に取り組んでいる。空き家は平成24年度の調査で800戸程となっている、振興会長さんと連携した空き家調査及び登録の呼びかけを行うことが、今後、重要になってくると考えている。

**問** 県果樹試験場の移転に伴う

跡地利用については、議会での質問や議会報告会での意見をまとめた市議会からの要望に、回答では現地調査等を実施し、検討するとなっているがその後の経過動向を伺う。

第2ほ場は景観景色がすばらしく、市街地から10分ほどで行ける立地条件のよい所である。歴史の名残りとしてみかん狩り等が楽しめる。四季には菜の花やヒマワリ、コスモス等が咲き誇る風景をつくり、観光スポーツとして、また市民の憩いの観光農業公園の検討は出来ないか伺う。

**答** 市議会から提出された跡地利活用の要望については、現地視察結果等をもとに、第1ほ場の施設は農業者等研究施設としての利活用は難しい。上野台地にある第2ほ場は農用地区域であり、農業者や農業法人による利活用を図ることが適切である。広大な土地の取得費、取得後の維持管理に相当な費用が見込まれるため買い受けはしないとした。今後どのような利活用がなされるか明らかになっていないが、観光農園も良い方法だと思っている。



西田あい  
チャリティーコンサート



## 迷惑空き家の適正管理対策に 条例制定・協議会設置で対応を

村山 芳秀 議員

**問** 増え続ける空き家や空き地等の雑草除去・雑木対策を急ぐ必要がある。空き家対策特措法が全面施行されて1年が経過した。市内にはこうした近所迷惑の事案と考える空き家対策に条例を制定して衛生上や危険な特定空き家対策に早急に取り組むべき。また、特定空き家の指定や空き家バンク・解体撤去補助など協議する場を設けて総合的な定住策として取り組むべき。

**答** 空き家等対策条例は、県下43市町村中、11市町で制定されている。条例制定で市の取り組みを強調し、空き家放置の抑止力になると考える。しかし、「特定空き家の判断に迷う」「勧告・命令等に踏み切る判断に迷う」など他市で運営上様々な問題を抱える。まずは特措法を活用したい。空き家対策協議会は、条例制定の前に設置して、課題整理をして進めたい。

次産業化と観光振興」をコンセプトに行うと回答があったが、基本設計の方針など具体的に示す時期は。今回の整備で何人規模のどのような職種の雇用を考えているのか。

**答** 基本設計の方針など九月末取りまとめる。できるだけ早い機会に公表したい。雇用人数は把握していない。民間事業者へ雇用について働きかけたい。

**問** 浜平の垂水絹糸跡地購入後、埋蔵文化財の収蔵庫移転や作業場確保をどうしていくか。行政が本来伝えるべき歴史民俗資料・偉人などの展示物を収蔵する施設を本気でやるべき時ではないか。鹿児島産業遺産の道事業で牛根造船所跡もリストアップされており、文化遺産への働きかけが必要なのでは。

**答** 柘原貝塚は南九州では最大級の規模を誇り、全国的にも貴重であると評価されている。協和中学校跡を活用して収蔵庫の保管管理に万全を期したい。  
(その他の質問事項)  
○地域振興計画の進捗状況について



## 市民を守る地区公民館の耐震化を

篠原 静則 議員

**問** 熊本県や大分県で発生しました地震により、5つの自治体の庁舎等が使用不能となり、災害対策や行政機能の低下を招きました。現在でも仮庁舎で業務を行っているところもございます。本市の庁舎が建設されて五十数年、もう実際には58年も経過しようとしております。耐震性にも問題があり、基金を設けて建設に向けた準備を行っているとのことだが、どうなっているのか。

**答** 熊本地震を受け、防災拠点となる市庁舎建設の検討を急ぐよう市長から指示がございましたことから、5月18日に第8回庁舎建設等庁内検討委員会を開催し、新庁舎建設に関する共通認識事項や災害時対応等の考え方を整理しました。

**問** 地区公民館については、外壁改修だけでなく、安心安全面から耐震診断、または耐震工事をしていただけないか。

**答** 本市の地区公民館につきましては、昭和56年の新耐震基準後に建設されましたのは、大野、牛根、松ヶ崎公民館の3つの施設であり、

その他の6つの施設は基準前に建設された施設であります。その6つの施設を建築の年数の古い順から申し上げますと、柘原、協和、水之上、垂水地区公民館と併設の市民館、新城、境の順となっております。

**問** ガードレール設置についてお尋ねいたします。柘原小学校裏の市道、垂水南1号線でございます。ややカーブをしておりますが大変危険です。

**答** 現場を確認しましたが、ガードレールを設置するといったしましても、車道の端にあるL型水路とL型擁壁の間に支柱を立て込む余地がないため、設置は難しいのではと判断しております。現場は、緩やかなカーブとなっております。現場は、車もスピードを出して通過することから、運転者に対して注意喚起を促すため、視線誘導反射板などの設置を検討してまいります。という思いです。  
(その他の質問事項)  
○議会答弁の重みについて  
○市職員の服務について



垂水高校生災害ボランティア



## 長島町のぶり奨学金のような 給付型の奨学金を政治決断で!!

池山 節夫 議員

### 問

民間資金活用集合住宅建設促進事業について。市内各地区で自己が所有する土地に集合住宅を建設する法人、または個人の固定資産税の減免を図るものですが、中央地区に関してはずでに飽和状態にあるのではないかと考えます。中央地区の分も周辺地区の事業として活用したほうが有効ではないかと考えますが見解を伺います。

**答** 中央地区が飽和状態となっているということですが、御指摘のとおり、今後、地域による偏在がないよう、中央地区以外での検討が求められるところでございます。中央地区以外の建設促進が図られるよう、減免措置の拡大はできないか、関係課と協議してまいりたいと考えております。

**問** 先日、NHKのニュースで貧しくて専門学校への進学を断念した生徒が取り上げられ、賛否両論ありました。現在の貧困は相対的貧困で、他人からは貧困と見えない事が問題だと考えられます。そして、最近、大きな問題となっているのが奨

学金の返還問題です。卒業して就職してもなかなか返していけないという若者が増えています。市長、例えば1人、月額5千円、年間6万円を、まず10人から給付型の奨学金を創設する。そのぐらいの政治をやってほしい、答弁をください。

**答** 貸与型から給付型の決断をということだろうと思います。中身の規模とか財源の問題もありますけれども、基本的には御提案いただいて、前向きに検討したいというふう

**問** くらし支え合い条例について。滋賀県の野洲市では、ことし10月施行のくらし支え合い条例を制定しました。この条例は悪質な訪問販売の被害を防ぐために、市内で訪問販売をしたい業者に登録が義務づけられ、違反した業者は登録取り消し

もできるものです。垂水市でのこの条例制定について見解を伺います。

**答** 本市といたしましては、県の消費者基本計画に沿って相談体制強化に努めてまいります。



## 南の拠点事業は 慎重の上にも慎重な対応を

持留 良一 議員

### 問

私はPFIではなく住民の立場に立った公共事業の検討が必要であることから、住民の視点から伺います。

一点目は、事業が住民にとって必要なものか。二点目は、営利事業としてのPFIと、自治体行政の公共性は両立するのか。三点目は、施設の建設・維持・管理に住民の意向が積極的に反映されるしくみになっているのか。四点目は、地域の中小企業・地域経済の振興にどうかかわるのか。五点目は、自治体の政策・事業評価が、PFI事業の適否を明確にできるようになってい

**答** 「まち・ひと・しごとづくり」である地方創生事業に位置付け、「年齢性別を問わず、地域住民、観光客、みんなが楽しめる場所」づくりを指しています。

公共性については、民間のアイデアやノウハウを活かし、更なる成果を目指すものであることから両立すると考えます。

住民の意向の反映については、施

設置主体は市であることから市に見をお寄せいただき、経営サイドに伝える仕組みは儲けたいと考えております。

地域経済への振興については、調査ではアイデアはあるが売り場がないなどの課題がありました。今、企業の稼ぐ力の向上を目指してソフト事業に取り組んでいます。拠点施設をどう活用していただけるかという視点で説明に努めていきたいと考えています。

事業の適正は行政の立場でしっかりと行っていきます。

**問** 就学援助で「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるように十分配慮するように」と文科省は通知しています。「就学援助の入学準備金の支給を入学時に」との要望に応えるべきではないかと考えますが見解を伺います。

**答** 認定審査において認定されなかった時など就学援助費の回収方法など課題があります。県下の状況等を調査し、支給の在り方を研究してまいります。



牛根地区運動会



## 南の拠点整備計画の問題点について

川尻 達志 議員

### 問

南の拠点の整備計画について全容がはつきりしていない現状の中で着々と進行しているようだが議会、市民にもっともつと情報公開をしていくべきと考えるがどうか？道の駅は、現在芙蓉商事が指定管理を受けてもらっている。森の駅も財宝におまかせをしているが、なぜ任せなければならなかったのか。その反省の上に進んでいるのか。財政状況も苦しい中での計画であるが、その点についても聞く。

### 答

情報公開についてはおっしゃるとおり不十分な所はあるのかとは思いますが、9月23日の全員協議会の席で現状について説明をし、広報誌などを通じそのことをしっかり伝えられるように進めていく。

これまでの総括反省ということだが、設置に関する取組だと、一般財源の持ち出しを少なくしたい。運営に関しては、行政が全てに肩代わりしない体制で運営が行われている体制づくりを目指したい。将来への影響については3つの拠点が連携しながら相乗効果を得るという方向で

調整をしていきたい。財源については担当がいるんなら財源を引き出し、ある程度の手出しが済んでいることの説明をしていかないといけない。そのことの説明が足りていない、あるいは説明できない状況であり、しばらく待つて欲しい。

### 問

土地開発公社については過去何回も精算して解散すべきと主張してきたが、ここに来て裁判沙汰になり、心配をしている。この裁判が終われば、解散するのか、との質問にその時に判断するという答弁であったが、南の拠点整備の中でも土地開発公社での取得という話もあるようであるが、市で取得して管理したほうがシンプルで誰にも分かりやすいと思うがどうか？

### 答

当初の先行取得とは別に事務所や店舗などの商業用地にも事業を行うことが可能になりそうといったことも検討しながら協議をしているところである。

(その他の質問事項)

○本市の高齢者対策及び病院の減少問題について



## 牛根地区山間部の農道、市道、集落道の改善整備について

堀添 國尚 議員

### 問

牛根地区山間部の農道、市道、集落道の改善整備についてですが、全体としてスピードは遅いが、改善整備に努力している様子は感じているが、私が今まで指摘、提案していることは大分時間も経過したが、実現できていない。今年度は市長の施政方針の思いきった部分もある。ぜひ、今年度は実現に向けて取り組んでいただきたい。まず、松尾の市道です。松尾の振興会長さん宅から下場に通ずる、松尾プロイラー周辺の市道の路面、道幅の改善はどのように進めるのか？

高野集落の裏側の道は、幅はあるが路面が悪い、この路面の改善は？また、天球館に通ずる道路の改善への取組は？

岳野集落の周回道路が一部地道のままですが、この道の改善は？

松尾線の指摘のある箇所ですが、道路幅員が狭く急カーブで大型トラックの通行に支障があるため、経営者が自ら土地を取得され、知り合いの建設会社に測量と工事をお願いされているようです。市としても、

も、松尾プロイラーさんと、工事を依頼されている業者とも連絡を取っており、工事着手前に協議をして、どのような支援ができるのか検討してまいりたいと考えている。今年度、振興会長さん宅から下場の方を70メートル整備をします。その先も路面が悪く、経営者で対応されているようですが、何とか市の方で対応したい。今後は、経営者で対応されているところも含めて改善につとめたい。

次に高野の裏の道ですが、残りが500メートルくらいあるので、あと3年ぐらいかかる予定である。天球館に抜ける道は、砂利を敷くとかして通行できるように今後も取り組む。岳野の周回道路は全部舗装はしてあるが、道に土砂が流れ出しているのので、土砂を取り除き、幅員の確保に努める。

(その他の質問事項)

○道の駅の振興策について



たるみず YOSAKOI 祭り

## 平成28年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	審査結果
議 案 第43号	平成27年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定
議 案 第44号	平成27年度垂水市病院事業会計決算の認定について	認 定
報 告 第13号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度垂水市一般会計補正予算（第4号））	承 認
議 案 第45号	垂水市教育委員会教育長の任命について	同 意
議 案 第46号	垂水市教育委員会委員の任命について	同 意
議 案 第47号	垂水市道路線の廃止について	原案可決
議 案 第48号	垂水市道路線の認定について	原案可決
議 案 第49号	平成28年度垂水市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議 案 第50号	平成28年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	原案可決
議 案 第51号	平成28年度垂水市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 案 第52号	平成28年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 案 第53号	平成28年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 案 第54号	平成28年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 案 第2号	請願第2号 耐震診断助成等を早急に求める請願書	継続審査
報 告 第14号	損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	原案可決
議 案 第55号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	原案可決
議 案 第56号	平成27年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第57号	平成27年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第58号	平成27年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第59号	平成27年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第60号	平成27年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第61号	平成27年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第62号	平成27年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議 案 第63号	平成27年度垂水市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
決議案 第1号	台風16号における早期災害復旧に関する決議 案	原案可決



### 公営企業決算特別委員会

7月28日に公営企業決算特別委員会が開催され次の議案について審議され原案の通り可決しました。ここでは、審議の際の主な質問と回答について紹介します。

#### 垂水市水道事業会計剰金の処分及び決算

**問** 1月の大雪の際、凍結した管が破れたことがあったが、弱っている管や破れそうな管が他にないのか確認のために試し掘りをする必要はないのか。

**答** 上町の役所近くにあるローソンの横断歩道部分、横断部分が弱い可能性があるために本年度当初予算において計上し、計画中である。

**問** 他にはないということではないのか。

**答** 現在保管している工事資料や図面をもとに確認をしているが、心配な水道管は上町ローソンの交差点に敷設されている水道管だけである。

**問** 災害時における水道管破裂の可能性があることや、市内に敷設されている水道管の耐震率は20パーセント程度であるというその見通し

の中で料金改定はどう考えているのか。

**答** 前回は平成20年4月に値上げを行ったが、その後全国的に水道管耐震化に対する問題等がこり、本市でも耐震管に入れ替える必要がある。交換には相当な金額がかかることが予想され、次の水道ビジョンである30年度以降には値上げの時期が来るのではないかと考えている状況である。



#### 垂水市病院事業会計決算

**問** 患者数が増えたにも関わらず、収入が減少しているのはなぜか。

**答** 国の診療報酬改定が平成27年度に行われた際、入院費については減額となった。そのことから患者数が増えたにもかかわらず収入は減少となった。

**問** ベッド数に対する入院者数の割合である病床稼働率が垂水中央病院が80パーセント台、対して垂水徳洲会病院が90パーセント台と10パーセント程度低い状況である。この違いはどこからおこるのか。

**答** 垂水中央病院のベッド数は126床となっており、一般病床が91床、療養病床が35床の割合となっている。垂水徳洲会病院のベッド数は78床となっており、一般病床が25床、療養病床が53床となっている。一般病床に比べ長期入院ができる療養病床の割合が多いことも原因の一つではないかと考えられる。

**問** 垂水中央病院は市民の病院として有り続けたいといけない。しかしながらいろいろな苦情がでてると思うが、指導はできないのか。

**答** 垂水中央病院は、運営を肝属郡医師会へお願いしている管理体制をとっている。このことから運営

について改善する点があれば言うことは当然のことだと思っている。





産業厚生委員会現場視察

### 産業厚生委員会

9月15日に産業厚生委員会が開会され、いくつかの議案について審議され、原案の通り可決しました。審議の際の主な質問と回答について紹介します。また、質問についても審議され、継続審議されましたので、主な意見を紹介します。

#### 主な質疑

**垂水市道路線の廃止について・垂水市道路線の認定について**

**問** 払下げ後も道路を残すようだが、道路占有許可ではいけなかったのか。

**答** 敷地の一体的な開発を計画していることから払い下げの申請があった。そのため、庁内で協議をおこない、払い下げという結論になった。

**問** 現場を見た時に今回の市道に入るなど言われたが、既に占有となっているのではないか。

**答** このことも含め相手にはきちんと指導をしていく。

### 一般会計補正予算（第5号）

#### ○福祉課

**問** 憩いの家の利用率は。

**答** 一日あたり30名程度である。

**問** 憩いの家の築年数も経っているが、ボイラーだけでなく施設自体の建て替えも考える時期に来ているのでは。

**答** ボイラーの導入する経緯として、年間利用者が1,000人以上減っていることもあり、次の更新前には検討していきたい。

**問** 修繕費に制御盤設定処理があるが、どういうことなのか。

**答** 浄化槽の壁修理の間、その浄化槽が使用できないため、制御盤を設定してルートを変える必要がある。

#### ○生活環境課

**問** 牛根麓と海潟の林道道路が被災を受けたとなっているが、どのあたりか。

**答** 旧海潟温泉駅より山側へ5.3キロほどあがったところである。

#### ○農林課

**問** 地域包括ケアセンターの改築状況を。

**答** コスモス苑の一部を地域包括ケアセンターにする工事だが、取り壊し中であり、舞台の鉄骨が見えている状況である。

#### ○水産商工観光課

**問** たるみずYOSAKOIまつりへの助成金が100万円と大きすぎないか。

つりへの助成金が100万円と大きすぎないか。

**答** 平成24年の桜輝集結成後、毎月のように活動し、交流人口増に貢献していることと、遠征時に本市のPRもしているために今回のみだが、助成することとした。

**問** 備品購入費で何を購入し、どのような作業の効率化が図られるのか。

#### ○土木課

**答** ダンプとタイヤショベルを購入することとしている。現在使用している車両が経年劣化により修繕費が多額になっているための買い替えであり、ダンプも2トンから利用しやすい4トンへ変更する。

### 垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第1号）

**問** 補助金を創設して、耐震化を持たせる方向が安心安全を担保できるのか、新築の方に持つていったほうが、安心安全に担保でき、また中期の経済の波及効果もある可能性もあり、慎重審議をするためにも継続審査としたい。

**意見** 補助金を創設して、耐震化を持たせる方向が安心安全を担保できるのか、新築の方に持つていったほうが、安心安全に担保でき、また中期の経済の波及効果もある可能性もあり、慎重審議をするためにも継続審査としたい。

**主な質疑** 耐震診断助成等を早急に求める請願書

### 垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）

**問** 現在の加入率は。

**答** 670人中354人が加入し、加入率は52.8パーセントとなっている。

#### 主な質疑

耐震診断助成等を早急に求める請願書

**意見** 補助金を創設して、耐震化を持たせる方向が安心安全を担保できるのか、新築の方に持つていったほうが、安心安全に担保でき、また中期の経済の波及効果もある可能性もあり、慎重審議をするためにも継続審査としたい。





垂水市民文化祭

## 総務文教委員会

9月16日に総務文教委員会が開催されいくつかの議案について審議され原案の通り可決しました。ここでは、審議の際の主な質問と回答について紹介します。

### 主な質疑

#### 一般会計補正予算(第5号)

#### ○総務課

**問** 備品購入費のベッドは、市報に掲載されていた段ボールベッドのことか。

**答** 今回計上したのはベッドは折りたたみ式の簡易ベッド10台の購入を予定している。

**問** ハザードマップをまとめるということですが、どう活用されるのか。

**答** 全世帯と事業所と福祉施設への配布を予定している。冊子にすることで保管しやすくなり、今後、避難所情報等を追加できるようにしていきたい。

#### ○企画政策課

**問** 企業版ふるさと納税の仕組みと垂水市のメリットは。

**答** 企業版ふるさと納税は市町村が申請して国が認定した事業に対

してのみ、企業は他の寄付金より大きい控除で寄付ができるものである。垂水市にとっては、賛同して貰える

とその事業自体へ寄付をもらえるので全額を一般財源に負担をかけずに行うことができる。

**問** 南の拠点整備事業で旅費を計上しているが、その目的は。

**答** 今回新潟への旅費を計上しているが、道の駅と民間企業が共同で経営形態やどういう支援をしているか、契約方法など具体的な実務内容について、事務担当者の方々の協議を予定している。

#### ○市民課

**問** 窓口の工夫で身体障害者、車椅子とか十分対応できるスペース等と含めて大丈夫なのか。

**答** 市民係一番手前側に車椅子でも利用できるカウンターを購入する予定としている。

#### ○財政課

**問** 垂水絹糸跡地を普通財産として購入するが、活用目的は。

**答** この土地は土地開発基金が先行取得しているが、南の拠点整備事業で土地の動きが出る可能性があるため即座に対応できるように普通財産としたい。

#### ○教育総務課

**問** 公有財産購入費があるが、何か購入するのか。

**答** 浜平にある教職員住宅の支払金であり、今年度で終了予定となっている。

#### ○学校教育課

**問** 備品購入で一輪車や竹馬を購入とのことだが、実数は。

**答** 各学校の現数を確認しながらの配置となるが、大規模校は8人に1台、中規模校は2人に1台、小規模校は1人に1台を考慮しており、一輪車を140台、竹馬を170購入する予定としている。

#### ○社会教育課

**問** 各地区公民館の工事請負費と委託料をあわせて1億近いがその内訳は。

**答** 終原地区公民館が外壁危険対策と屋上防水工事で1,045万3,000円、協和地区公民館が外壁危険対策と屋上防水工事で1,250万円、水之上公民館が外壁危険対策と屋上防水工事で1,381万円。新城地区公民館が外壁危険対策と空調導入で540万円。境地区公民館が外壁危険箇所対策と塗装と空調導入で1,200万円。牛根地区

公民館が、外壁危険箇所対策と塗装空調導入で1,800万円。松ヶ崎地区公民館が危険箇所確認と空調導入で960万円。市民館が大ホールの壁際工事と垂水地区公民館といっ

しよに調理室の冷房も入れて全部で1,500万円となっている。

#### ○問

公民館の耐震化、一挙にはできないだろうが、年次的な方向性を持つていないのか。

**答** 耐震化工事を実際するまで、耐震診断を行い、必要箇所が決まることから、まずは耐震診断をしなければならぬので、予算化に向けて今後協議していくことで考えていきたい。

#### 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

#### ○問

国民健康保険の法定外繰入はどうなるのか。

**答** 医療費が右肩上がりが増加していることから、医療費抑制には努めるものの本年度並み以上繰り入れられる予定である。

## 桜島火山活動対策要望について

10月19日、垂水市、鹿児島市、霧島市、鹿屋市の各市議会で構成している桜島火山活動対策議会協議会において、中央要望を行いました。

この協議会は、桜島の継続的な火山活動に対して、国や県への意見の反映を図るなど、総合的な施策を推進する事を目的に設置しています。

今回の中央要望では、本県選出の国会議員や各政党に対し、桜島による被害への対策要望を訴えました。

### 主な要望事項として、

- 桜島火山観測・研究の推進として、広範囲への観測機器設置や風評被害に繋がらない噴火速報への配慮
- 大規模な降灰対策の研究
- 桜島周辺の道路整備の促進として、国道220号、224号、504号の歩道促進、道路拡幅等の事業促進
- 健康対策として、児童生徒の健康を守るためプールクリーナーの貸与数増。
- 桜島火山対策に要する経費の財源措置として特別交付税の充実
- 降灰除去事業として国土交通省所有の大型道路降灰除去車両の貸付
- 降灰防除施設の整備として学校へ



導入しているクーラー等の機器更新  
 防災営農対策として、策定予定の「第15次防災営農施設整備計画」に

基づく対策が出来るための予算の確保

などの要望をしてまいりました。

これからも、桜島の被害を少しでも緩和できるように、市議会としても活動していきたいと思っております。

## 市議会へ行くころ

平成28年第4回定例会会期日程(予定)

- 12月2日(金) 本会議
- 12月13日(火) 一般質問
- 12月14日(水) 一般質問
- 12月15日(木) 産業厚生委員会
- 12月16日(金) 総務文教委員会
- 12月22日(木) 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

※委員会の傍聴は、委員長長の許可が必要です。

※12月2日、12月22日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

### ■垂水市議会事務局

TEL 32-0132 (FAX 兼用)

メールアドレス

[t\\_gikai@po.city.tarunizukagoshima.jp](mailto:t_gikai@po.city.tarunizukagoshima.jp)

## 編集後記

台風16号で被災に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。台風16号で甚大な被害に遭った本市は激甚災害(局地)の指定をうけ、復旧・復興へむけて今後弾みがかかります。そんな中、「災害発生時、そのとき、議員はどんな行動しますか」と災害時における議会はどのように対応していくかが、改めて問われています。滋賀県大津市議会は、災害時に行うべき議会・議員の役割や行動方針を定めました。理由は、災害時には初期対応の迅速な動きが、市民の要望に的確に反映した復興・復旧に早期に取り組むことが可能になるという考えのもと策定されています。

今、災害からの復旧・復興へ向かう中、議会として何が求められているのか検討していくことが求められています。

